

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイまり		
○保護者評価実施期間	2026年2月19日		~ 2026年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		~ 2026年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が常に在籍しているため、医療依存度の高い利用児様の受け入れも可能。他施設では断られた案件でも対応できるようにスタッフ教育を行っている。	呼吸器管理等の医療ケアが多数必要な利用児を受け入れる際には看護師が中心となりスタッフ研修を行い、全スタッフが安全に見守り対応出来るよう取り組んでいる。	引き続き定期的な勉強会、日々のカンファレンス等を通してどの職種のスタッフでも不安なく安全に利用児と関われるようスキルアップを行っていく。
2	スタッフの年齢層も幅広く、また多国籍な文化の取り入れも可能であり、利用児にも多様性やグローバルな環境を提供することが出来る。	日常会話に英会話を取り入れたり、レクリエーションでスタッフの母国語のレッスンや各国のおやつ作りをして異文化に触れる機会を提供している。	今後も利用児や保護者のニーズに応じた新たな取り組みやイベントを企画していく。
3	入浴希望者には対応している。	浴室にストレッチャーを導入し、利用児・介助者共に負担が少ないよう工夫している。	転倒や転落に注意し、引き続き安全安楽に入浴介助ができるよう支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室や個別対応が必要なスペースの確保不足、庭など外で自由に遊べる空間が少ない。	寝たきりの利用児や動き回れる利用児が混在するためフロア面積の確保が難しい。	パーティションを利用し仕切りを作り、半個室のようにしている。スタッフ配置に余裕がある日は近所の公園などへ散歩に行き、外遊びができる環境を提供している。
2	地域の保育園や近隣の子ども達など外部との関りが少ない。	利用時間や送迎時間の兼ね合いもあり、外出頻度が少なくなっている。地域との交流の機会を確保するのが難しい。	利用児や保護者様のニーズを確認し、地域交流の場や相談員さん等との情報連携を強化していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイまり					公表日	令和8年3月28日			
					利用児童数	9 名		回収数	8 名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1			広いと思います。	今後も環境整備に努めています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8				玄関が広く浴室も綺麗で良い。	今後も環境整備に努めています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8				床暖が暖かくて良い。	今後も気温や環境に応じた整備を行っていきます。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1			いつも子供が楽しそうに通っている。	今後も一人一人に応じた支援を行って参ります。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	2						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8				丁寧にヒアリングや面談を行ってくれる。	事前のアンケートを元に、今後もニーズに応じたプランを作成していきます。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1		1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8				しっかり支援してもらっている。	ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1			季節のイベントや製作など工夫が多い。	夏祭りやクリスマスなど皆が楽しめるイベントを今後も企画していきます。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1		7	活動している様子はない。	今後は子供たちが通う学校へ授業参観の申し入れ等も検討中です。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1			契約時に説明してもらった。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8				事務所で面談し説明してもらった。	普段の様子や何気ない雑談、保護者様の悩みを聞く貴重な機会となっております。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		3		5	あまり聞いたことがない。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	8				連絡帳やLINEで連絡が来ます。写真や動画が送られてくるので普段の様子がよくわかる。	デイでの様子が伝わるよう写真や動画で今後も共有していきたいと思います。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1			送迎時など直接話す機会も多いので助かります。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8				優しいスタッフが多い。			
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	1	5					

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1			LINEや電話ですぐに連絡がとれるので安心。	今後も安心して利用していただけるよう情報伝達していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				されていると思う。	引き続き、個人情報の保護を徹底していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	2		4		感染症流行時期などは案内を配布して感染予防の協力を促しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	2		5	災害時等の備えで予備の栄養剤を預けている	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1	すぐに電話やLINEで連絡が来る。怪我や発作の写真や動画も送ってもらえるので状況が分かりやすい。	まずは電話で速やかに連絡し、連絡が取れない場合はLINEで対応。連絡帳にも記入し送迎時にも状況説明を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				いつも楽しんで通っています。	今後も安心・安全な環境を提供していきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8				デイのお迎えが来ると喜んでます。	ありがとうございます。今後もより良い支援ができるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイまり			令和8年3月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		送迎ドライバー不足により現場スタッフが抜ける際には事前にスタッフ数の調整をしている。	ドライバー急募。スタッフの増員は行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		施設内以をフラットにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		施設内フルフラット、床暖完備で快適な空間となっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		パーティションの有効活用。	個室や個別対応できる空間が不足している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日始業時のミーティング、スタッフの業務連絡ノートを活用している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		当事業所では行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		医療ケア児や呼吸器使用の利用児受け入れの前には勉強会を行い、必要時は外部研修にも参加。	現場が手薄になるため、外部研修に行く時間の確保が難しい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		事前に保護者へヒアリングアンケートを行い、ニーズに沿った原案を作成している。	保護者からの返送がない場合に自宅での状況やニーズが把握しにくい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			児発管の現場業務負担が多く、十分な検討を行う時間の確保が難しい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		全スタッフで支援計画の立案会議を行い、多職種目録での意見を取り入れている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		各項目を設定し、個別に応じた具体的な目標を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			保育士や児童指導員が中心となって立案していることが多い。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		季節のイベントを企画したり、利用児からリクエストがある際には臨機応変に対応している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個々の目標に沿った計画の立案。	利用の曜日に偏りがあり、集団活動が組みづらいこともある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝礼時に当日のスケジュール・注意事項・担当役割の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		業務連絡ノートやスタッフグループLINEの活用。	送迎時間の兼ね合いや退勤時間が異なる為、翌日の朝に振り返りや申し送りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		記録用紙は複写式の物を使用し毎回記載、保護者とスタッフ間で連携・共有している。	排泄や午睡時間など細かな記載漏れがあることあり。支援内容はすべて正確に記載することを徹底する。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年毎の更新、ヒアリングシートを元に見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		主に管理者や看護師など利用児の体調や医療的ケアを把握している者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			当施設から積極的に相談員や学校に支援者会議の提案等行っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			必要時は保護者や相談員を通して地域の関係機関と情報共有する場を設けてもらう。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			保護者に対しては早い段階で進路の確認や移行支援の悩み等のヒアリングを行っているが進学先との直接的な連携が出来ていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		近隣に園がなく交流が難しいが、公園などに出掛けて近所の方と交流する機会を作っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡帳やLINEで利用状況を分かりやすく、写真や動画でも共有している。	送迎に出れるスタッフが限られているので、直接保護者と顔を合わせる機会が少ない。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			実施していない。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		ヒアリングシートを元に保護者と面談し、丁寧に意向を確認している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			送迎時など短時間での説明となってしまうことが多い。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			一度保護者会を企画したが、就労されている親御様が多く、日程調整が困難であり開催延期となってしまった。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口を設置し、相談や申し入れに対しては速やかに管理者へ報告し対応している。		重要事項説明書に苦情受付窓口の詳細を記載している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEで動画や写真を送ることで保護者からも利用状況が分かりやすいと好評である。		利用連絡表に活動内容を記入、定期的に【まり便り】の発行。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫とシュレッターで厳重に管理している。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			地域住民との交流は企画したことがなく、今後検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		利用児も交えて定期的に避難訓練を実施。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に看護師がアセスメントシートに沿って聴取、計画書更新時に服薬の内容等も再確認している。		個人ファイルの利用でスタッフ間共有。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのある子は食札に表記。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		所定の書式を事務所に保管し、全スタッフが共有できるよう教育している。		同一のヒヤリハットが続くことがあり、再発予防が周知されていないことがある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		同グループ内で全体研修があるため担当者が本部の会議に出席し、事業所スタッフへ指導している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明し、承諾書にサイン・保護者の同意の元、必要最低限の実施としている。		職員配置を適切に行い、自傷行為のある児に対しては常時1～2名スタッフが対応出来るようにする。	